

各委員の事前意見と計画素案への反映

委員名	意見を述べたい箇所	意見	計画素案への反映
委員	P6 1-1 自然環境保全と循環型社会の推進	<p>・環境保全の中に、イノシシ等の野生動物との共生(保護や個体管理)についても記述が必要ではないでしょうか。現在九州には熊は生息していませんが、イノシシ等による農作物の被害はあるのではないかと思います。生態系の維持やすみわけの視点で、植物だけではない自然環境保全になるよう記載をいただけると嬉しいです。</p>	<p>基本計画としては P7 主な取り組み「市民や事業者が自然・環境について学ぶとともに、自然と触れ合う機会の創出に取り組みます。」に包含しています。実施計画への反映を検討します。</p>
		<p>・リサイクルについての記載がありますが、昨今のモバイルバッテリーの発火事故のニュースを耳にすると、今後同様の事故が増えるのではないかと心配しています。総合計画に書くまでのことではないかもしれませんが、ごみの分別や資源物回収の視点で何某かの言及があっても良いのかと思います。</p>	<p>基本計画としては P6 現状と課題「リサイクル率は・・・取り組み内容の改善・適切な評価をしていく必要があります。」に包含しています。実施計画への反映を検討します。</p>
	P22 3-1 市民の大切な生命と財産の保全	<p>・防災・減災の取り組みとしての市の役割については記載があるものの、今回追記されている部分の大部分が自助・共助に係る内容と感じました。公助に関する記述を明確にすることで、市民に担ってほしい自助・共助についても対比できて分かりやすいのではないのでしょうか。</p>	<p>基本計画としては P22 現状と課題、P23 主な取り組みに包含しています。実施計画への反映を検討します。</p>
	P32 4-3 認め合い、支え合う高齢者・障害者福祉の推進	<p>・近年の制度の充実と逆行するように、医療・福祉職従事者の人材確保が困難になっています。労働力人口の減少もあるかとは思いますが、それ以外の大きな要因として公定価格の分野では報酬改定が最低賃金改定に伴う賃金上昇に追い付いていないことが否めず、その点では国の対応を求める必要があります。一方で、例えば障害分野で言えば日中一時などの地域生活支援事業の単価や、委託で行っている事業等については市の裁量で決めているところでもあるので、市としての従事者の人材確保や生計維持のための財政的な支援の必要性について言及いただけないのでしょうか。</p>	<p>P32 現状と課題 医療・福祉職従事者の人材確保の必要性について、追記します。</p>
	P46 5-1 子どもを安心して産み育てられる環境づくり	<p>・保護者の仕事と子育ての両立については、不登校傾向(たまに登校・登園できない)のお子さんに対する支援の必要性と困難さもあります。この場合にほとんど母親に任せが来ているため、男女共同参画や家族の生計維持の観点からも課題として挙げる必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>基本計画としては P49 主な取り組み「豊かな心・健全な体を育む教育の推進」に包含しています。実施計画への反映を検討します。</p>

	指標全体	<ul style="list-style-type: none"> 各指標の回数の中で、現状が令和6年度単年度の数値であるのに対し、目標が令和12年度となっているものの数値が7年度から12年度まで5年間の累計で、感覚的に分かりにくいです。目標の期間を1年単位にできないでしょうか。(5年間の平均もしくは最終年度のみ回数) 	<p>年度間の差が大きい指標や、単年度での効果測定が難しい指標について、5年を通じた取り組みの成果へと変更したものです。</p> <p>表現方法を工夫します。</p>
委員	P42 4-8 男女共同参画社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> P42 には男性の家事育児推進に関しての記載していただいています。しかし、P43 の取組、指標には反映されていません。家事育児推進のためにも行政が率先してもらえたらと思います。例えば、鳥栖市役所の男性育休の現状・目標などを盛り込むことができればと思います。 	<p>基本計画としては P43 主な取り組み、指標「男女共同参画の推進」に包含しています。</p> <p>実施計画への反映を検討します。</p>
委員	P46 5-1 子どもを安心して産み、育てられる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 多くの保護者から、雨の日や暑い日、寒い日に、屋内で、親子で体を動かして遊ぶことができる場所が欲しいという声が挙げられています。子育てをめぐる環境の現状と課題として記載を検討いただきたい。 「子育て支援センター」や「放課後児童クラブ」の記載はありますが、屋内遊び場についての取り組みが必要だと思いますので、誰もが気軽に立ち寄り過ごすことのできる「居場所」について追記いただけると良いかと思います。 	<p>P46 現状と課題</p> <p>屋内で、親子で体を動かして遊ぶことができる場所へのニーズについて追記します。</p>
委員	P44 4-9 多文化共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> 互いの文化、風習を学ぶために地域住民との交流を推進していくことはとても素晴らしいことだと思う。しかし、鳥栖に転入して間もない、又は日本に入国して間もない外国人に対し、ゴミ捨てなどの地域のルールは「やさしい日本語」では対応しきれないと思える。外国人の母国語や共通語でゴミ出しや地域のマナーなど案内できるようにするのはどうか。(育成就労、特定技能での来日は N4、N5 レベル) また鳥栖の地域を守るマナーなども育成就労、特定技能を受け入れる企業にお伝えできようになりたい。 ゴミのポイ捨てや22時以降の騒音(洗濯機の使用を含む)、駐輪のマナーなど指導をお願いできるような、現状鳥栖市に寄せられている苦情を元にレジュメを渡せると官民一体となって問題を解決できるのではないだろうか。 	<p>基本計画としては P44 現状と課題</p> <p>「外国人住民にとって分かりやすい情報を提供」「日本語や日本で生活するうえでの必要なルール、文化、風習などを学ぶ機会を提供」に包含しています。</p> <p>実施計画への反映を検討します。</p>

委員	P61 スポーツ振興の指標 について	<p>・現状の課題にスポーツを「する」「見る」「支える」に対して指標は「体育施設利用者数」のみで「する」への取り組み指標だけと感じました。厳しいかもしれませんが「見る」「支える」に対して、サガン鳥栖、SAGA 久光スプリングス等に対する指標項目があったらいいと感じました。</p>	<p>基本計画としてはP61 指標「体育施設利用者数」に包含しています。利用者数は、実際スポーツをされる方、大会等を観戦される方、指導される方や大会等で運営に従事される方等、「する」「見る」「支える」すべての方を含めております。</p>
	その他	<p>・計画審議に対しての意見から外れるかもしれませんが、今回の市議選の投票率が低下して50%を切りました。市議選のみならず県知事選も最下位20番目となっています。鳥栖市はみやすさ NO1 でありながらあまり政治・経済関心がいのではと感じています。「投票率」を上げるための課題・目標あればと思います。</p> <p>・または、鳥栖住民の「投票率」を上げる為の施策が必要感じました。</p>	<p>基本計画としては P65 主な取り組み「行政情報の共有化と市民の声を聴く機会の充実」に包含しています。</p>
委員	P58 6-3 観光の振興	<p>・大規模施設はあるが点が線になっていない 大きなイベントも楽しみですが、一過的なものだけでなく、週末(土・日・祭日)などに鳥栖駅⇒アウトレット⇒くすり博物館⇒新鳥栖駅⇒鳥栖競馬場⇒鳥栖駅等回遊してもらうために観光周遊バスの運行を補助すること等も必要かと思えます 各観光地では公共交通手段を利用して観光するインバウンドも大変増えています 福岡空港や佐賀空港からも近い鳥栖の魅力を発信するためにぜひご検討いただければと思います</p> <p>・また、空き家対策として他地域では観光客が入りやすいカフェ・雑貨店などの補助もよく耳にします。車で通りすぎてしまわない工夫が必要かと思えます。</p> <p>例 JR弥生が丘駅からアウトレットまで、周りのお店を散策しながら行けるといいかなと思います(いつも駅から歩いている観光客を見て気の毒に思ってしまうので)</p>	<p>基本計画としてはP59主な取り組み「核となる施設を中心に市内を回遊してもらえるようコースの充実を図ります」 P27 主な取り組み「空き家の利活用・流通」に包含しています。 実施計画への反映を検討します。</p>

委員	P58 6-3 観光の振興	<p>・鳥栖市の観光振興のために、魅力あるイベントの開催等だけではなく、鳥栖市内にある魅力あるスポットなどをSNS等により広く周知するべきであると考えます。</p> <p>・SNSでのPR効果は日本国内だけでなく、インバウドの人たちの情報収集にもヒットする可能性が高く、観光振興に大きな効果があると考えます。県内でも有田町では、陶器市だけでなく、歴史や文化に興味を持った外国の方が来訪されていると聞きます。アウトレットに来られた海外や国内の方に、鳥栖市でもう一か所立ち寄りたいたいと思わせる魅力あるスポットをPRしてはどうか。SNSの利用は、年齢や性別で傾向が異なります。若い世代にはInstagramやXが有効です。全世代にはyoutubeの利用率が高く、そこで検索に引っかかるような情報発信が重要だと思えます。</p> <p>・鳥栖の魅力については、年代や性別毎にも違うと思うので、それぞれの世代での魅力などを募集しPRしていくことで、鳥栖への観光集客にもつながり、市民が気づかない新たな魅力が発見されることもあると思えます。</p> <p>例年代毎で鳥栖の SNS 映えスポットなどのフォトコンテストを開催し、SNS での効果的な鳥栖の魅力発信を行っていくなど、SNS を使った情報発信なども指標として追加してはどうでしょうか。</p>	<p>基本計画としてはP59主な取り組み「核となる施設を中心に市内を回遊してもらえるようコースの充実を図ります」に包含しています。</p> <p>実施計画への反映を検討します。</p>
委員	P64 7-1 協働のまちづくり	<p>・基本目標を推進するための考え方として、市民や地域との連携が強調され、その組織としてのまちづくり推進協議会や市民活動センターとの連携の重要性が述べられているが、市としての役割をもっと明確にそして具体的に明らかにしてほしい。</p> <p>今後は、市民協働のまちづくりが求められる時代を迎え、行政も重要な役割を担う主体の1つであると考えます。</p>	<p>P64 現状と課題</p> <p>まちづくり推進協議会と市の役割を明確化する必要があることについて、追記します。</p>
	P66 7-2 効果的、効率的な行政運営の推進	<p>・基本目標を推進するにあたっての考え方として、行政と市民の信頼関係の前提として、情報の共有化のため透明性及び公平性を確保し、積極的に行政情報の開示・提供が不可欠と考えるので、是非記載してほしい。</p>	<p>P66 現状と課題</p> <p>市として積極的に行政情報の開示・提供を行う必要があることについて、追記します。</p>